

ながぬま 議会だより



水難救助訓練 (6/15 『石狩川水防公開演習』)

主 な 内 容	第2回定例会	2
	一般質問	4
	第4回臨時会	7
	議会日誌	7
	委員会活動	8

平成14年9月1日

第123号

発行長沼町議会

編集広報委員会



本紙は再生紙を使用しています。

す。（選任同意）

請願

介護老人保健施設の建設を 求める請願

介護老人保健施設の建設に向けて積極的な全町挙げての支援体制を整え早期開設が図られるよう十二区区長から請願を受けたものです。

派遣

（六月二十六日）内政調査会議長会主催議員研修会（七月十日）、空知町村議会議長会主催議員研修会（八月五日）に全議員を派遣。全国町村議長会主催広報研修会（八月二十八日～三十日）に新谷議員を派遣。空知町村議会議長会主催海外地方行政調査（十月二十六日～十一月六日）に藤田議員・栗木議員・土田議員を派遣するものです。

意見書

第一回定例会では次の四件の意見書を可決しました。内容を要約して紹介します。

・強化を求める意見書

本道は日本の食料供給基地として、今後とも、
安全・安心な道産品の供給に努めるとともに、
消費者に対する信頼を確保しなければならない。

このため、偽装表示事件の再発防止に向けた表示法制度の抜本的見直し、食品の履歴情報の表示制度、企業のモラルの向上や違反・違法表示を未然に防止する新たな監督機関の設置など、消費者重視に立った制度を確保する次の事項について政府に強く要望する。

- ・ 食原材料の生産から加工、流通、販賣に至る履歴情報の追跡・表示制度を創設すること。
- ・ 食品の安全性と保健衛生及び表示制度の監視・監督機能など一元的食品安全行政機能を確立する新たな食品安全監督機関の設置などの法制設備を早急に図ること。

- 輸入農産物・飼料穀物などの遺伝子組み換え表示や加工品への原料原産地表示義務化の拡充とともに、残留農薬・肉骨粉等、抗生物質環境ホルモンなどに厳格な基準を設けチエックを行い、そのリスクを情報公開すること。
- 農畜産物の加工・流通業者による企業モラルを欠いた偽装詐欺表示に対して罰則規定を強化し、不公正な取引を排除すること。

「森林・林業政策の充実と雇用創出」に向けた森林関連予算の拡充を求める意見書

三十人以下学級実現など教育予算の充実を求め、義務教育費国庫負担法を改正正することに反対する要望意見書

大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣

乳幼兒医療費無料制度創設を求める意見書

病気に対して抵抗力の低い乳幼児を抱える家庭においては、乳幼児の医療費は経済的、精神的にも大きな負担となつてゐる。子供の権利条約では「締結国は到達可能な最高水準の健康の享受並びに疾病の治療及び、当該保健サービスへアクセスする権利が奪われないことを確保するよう努める」とし、批准国として責任ある実行が問われている。年々出生率が低下している中で、安心して子供を生み育てられる環境をつくることは、国の施策としても、まさに最重要課題と考える。よつて、政府においては子供達の健やかな成長を社会的に保障し、若い父母が安心して子育てできるよう、一日も早く乳幼児医療費無料化を国の制度として実現することを強く要望する。

- 員の全校配置などゆとりのある教職員定数配置が必須となつて、保護者負担を軽減し、地域・家庭の教育環境向上のため、義務教育諸学校の教科書無償制度や私学助成の増額などが引き続き重要な課題である。
- 以上のことから、次の事項の実現を図るよう強く要望する。
 - 義務教育費国庫負担法を堅持すること。
 - 三十人以下学級を早期に実現すること。
 - 教科書の無償制度を継続すること。
 - 私学助成の確保及び大幅な増額を図ること。
 - 学校教育法第二十八条「但し書き」と、同法百三条を削除すること。
- 提出先＝内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣、北海道知事、北海道教育長

第二回定例会における一般質問は六月三日に行われました。質疑の概要をお知らせいたします。



質問者 藪田 享議員

有事関連三法案について

問 今国会で審議中の有事関連三法案について、地方自治を守り、住民の福祉と健康の増進に責任を負う立場から、国会での慎重な審議や自治体関係者の意見を聴取するよう働きかけるとともに、国民の人権や自由、地方自治に反する中身などについては、明確に反対を申し入れるべきと考えるが町長としての考え方を伺いたい。

板谷町長 今通常国会において有事関連の三法案が上程され、現在審議中であります。賛否両論で色々な意見が交わされていところです。地方自治体の首長としても、国会において十分な論議が重ねられ、憲法九条で希求されている恒久的な国際平和が享受できるような、国民に不安を与えないような体制で論議が重ねられ、実現することを大きく期待しております。

山根川の未改修部分の早期改修について



山根川とワッカポップ川の合流点

問 昨年、旭町の公営住宅をはじめ低地帯における水害は大変深刻であったが、一級河川の山根川が改修されていたとすれば被害は最小限に済んだと思われる。一日も早い改修を道に要請すべきと思うが、町長の所見を伺いたい。

林施設課長 山根川は昭和四十四年に一級河川の指定区間となり、北海道知事が改修、維持管理を行うこととなっています。河床勾配不整一のため土砂沈積となり、疏下能⼒が劣り滞留するのが現状であります。そのため、札幌土木現業所において、平成元年から平成三年にかけて、馬追運河合流点から北二条東線までの九〇三地点の改修、平成十年には、東四線から炭山川合流点までの一、四〇〇地点の床ざらいを行い、その解消に努めているところであります。また、昨年九月の雨量一六二ミリは、本町において、昭和五十年以降で見ると、昭和五十年一六九ミリ、昭和五十六年四〇四ミリ、平成二年一七二ミリに次ぐ雨量であり、石狩川流域における雨量としては、昭和五十年、昭和五十六年に次ぐ歴代三位の雨量として、石狩川開発建設部では公表しております。大雨の際にには出水の危険にさらされてきているところであり、地域住民の不安を解消すべく抜本的対策を

お願いしているところであります。

町長 何度となく過去においても氾濫した時代があり、昨年の降雨によつても、一部床下浸水が見られた次第であります。抜本的な対策について非常に憂慮いたす次第であります。

は、管理機関の土木現業所、道に要請をしておりますが、

一日も早くこれら改修が着工実現するよう今後も継続して要請をしていきたいと思ひます。

特に、石狩川水系の千歳川の抜本的な対策に向けてまして先に千歳川流域の治水対策検討委員会におきまして堤防強化案が提案され、この事業が早く着工し、本来の河川整備の基本方針が定まるよう、そして、かつ私どもの地域に水害の憂いが全く憂慮されないよう期待をしているところであります。

あり、これらに関連した内水対策についても十分意見を出しながら、これら対策に努力をいただきたいと思うわけであります。

要請の仕方 協力の仕方は

三十人以下学級の実現にむけた取り組みと免許外教員の解消について

問 単にお願いをするというだけではなく、どういう協力をすれば改修が進むかというごとにについても、積極的に相談をし、対応すべきではないかと考えを伺いたい。

町長 山根川は、一級河川が

準用河川を経て一級河川にさら

りに出ていくという特殊な指

定河川であり、この問題をま

ず改善しなければ、合理的な

河川運営はできないというこ

とであります。よつて、単なる要請活動だけでは解決でき

ないわけであり、その辺十分

に理解しておりますので、技術的な問題も十分参照しながら進めなければならないと思ひます。

非常に難しい問題を抱えて

いる河川なので、これらを十分検討し、問題点は問題点と

してクローズアップしながら、

技術的な解決を見出してまい

宮本学務課長 本町の大規模学校における一学級当たりの児童生徒数ですが、長沼中央小学校では二十九人から三十四人の中学校では三十八人の学級生徒数となつております。なお、他の学校においては、三十人以下の児童数となつております。

また、教職員の定数については、道教育委員会の定数配

置基準に基づき、児童生徒数

問 一、父母や教師からは新学習指導要領、学校週五日制の完全実施に伴う学力低下が心配されている。また、LD児やADHD児等への対応にきめ細やかな指導が求められている。今こそ、三十人学級実現を道教育委員会に働きかけるべきと考える。また、町独自でも対応で

きる教員の臨時の配置も考えるべきではないか。

二、町内小中学校における免許外教員の実態はどうなつて

いるのか。また、教員の負担増大にもなつてている点を解消する対応が必要と考えるがいかがか。

道教育委員会への 働きかけ、要請は

問 道教育委員会に対する三

十人以下学級実現に向けての働きかけ、免許外職員解消の要請はどのような考え方を

たい。

導教員を学校の要請により配置するなどの努力をしておりま

す。今後においても、きめ細やかな学校体制を構築するための方策を近隣の対応状況も参考に検討してまいりたい

と思います。

免許外教員の問題については、基本的には専門免許を持つ教員が教科指導を担当する

のが理想ですが、学校規模等により十分な配置がなされていないのが現状でございます。

中学校で一学年一クラスの場合は、道教育委員会の配置基

準では管理職を含めて九名となつております。今後、これ

らの問題解決のため、あらゆる機会で定数の改善等を関係

機関へ要請してまいります。

町内小中学校の免許外教員の実態については、北長沼小

学校二名、長沼中央小学校三

名、中央長沼中学校三名、南

長沼中学校六名、北長沼中学校四名となつております。

戸川教育長 児童生徒一人一人の子に応じた多様な教育を

推進するためにチームティー

チング、複数教員指導等の指

戸川教育長 義務教育の標準法によつて四十人と決められております。ただ、平成十三年度から都道府県単位で人数を減らしても良いということを実施しております。これは秋田県を初めとし、五県が実施しております。

北海道につきましては、現在検討中であり、具体的な実施時期とか、人数についてはまだ明らかになつておりますが、これは、三十二人から三十五人というところで行つているようです。そして、本年度からは新たに十県ほど増え、小学校免許外教員につきましては、



小学校の授業風景

一年生とか、あるいは中学校三年生という限定した中で、三十人から三十五人ぐらいの人数で実施していると聞いております。

一年生とか、あるいは中学校三年生といつては、個人にはお願いをしております。大規模校であればすべての教科の先生はあります。ただ小規模校になりますと、例えば、九人しか配置されないということであれば、先生は七人といふことで、十一教科あれば四教科はどうしてもいなくなる訳であります。私どもとしては、北海道町村教育委員会連合会に小規模校であつても、免許外教科担任の解消をしてほしいと、それができないのであれば、時間講師ということで、要望もいたしております。そのようなことで道教育委員会の方へも要望をしているところであります。

町内にも安心して利用できる老人保健施設の整備を

問 高齢者の人口が毎年増加している。健康で長生きしたいと考えるのは誰もの願いである。不幸にして病気になりますと、在宅では生活できない人が着実に増えている。現在、町内には老人保健施設がなく、近隣市町村の施設を利用している。本人、家族にとって大きな不便をきたしている。

当然、老人保健施設は近い将来、町内にも必要な施設と考える。町として積極的な対応を考えるべきと思うがいかがか。

加藤福祉課長 当町における六十五歳以上の人口は、四月一日現在二千九百十人で高齢化率は二二・八%となつております。

なお、今年度見直す平成十五年度からの介護保険事業計画では、平成十七年度の高齢者人口を三千百四十四人、高齢化率を二四・二%と推計しております。

また、要介護認定者数は、四月一日現在三百九十九人で、介護老人福祉施設いわゆる特養利用者が八十九人、介護老人保健

通信教育でも資格が取れるわけで、資格を取つていただきたいと個人にはお願いをしております。大規模校であればすべての施設利用者のうち、八人は南空地圏域内の施設を利用しており、十六人が圏域外の施設を利用しております。

迎光園の待機者は、五月一

日現在七十五人で、待機場所は自宅が三十二人、病院が二十九人、介護老人保健施設が十九人、その他施設が五人となつております。

板谷町長 四月の上旬に医療法人恵庭南病院から、町内に介護老人保健施設の設置をしたいという報に接しているところであり、これを受けまして、地域との調和を図りながら、また、町内の関係機関との連携なども調整をし、さらに町民の利便性に十分配慮した施設が設置され、運営されることが期待されるわけになりますから、今後、これら関係者と十分検討協議をさせていただきたいと思います。

第四回臨時会

と一億九百二十万円で契約するものです。(原案可決)

請願

議会日誌

補正予算

平成十四年

介護老人保健施設の建設を
求める請願(文教厚生常任
委員会審査結果報告)

五月

平成十四年第五回議会臨時会が七月十五日に開かれました。
審議内容は次のとおりです。

えるものです。(原案可決)

条例例

契約約

地域福祉基金条例の一部を 改正する条例制定

六月十一日、齊藤 良子氏

(宮下一丁目)から三十万円
の寄附を受けたため、本条例
の指定寄付金項目に同氏を加
えました。

自治功労表彰

四釜則雄議員が受賞

六月十一日付けで四釜 則雄議員
が、北海道町村議会議長会から自治
功労表彰を受けられました。



推薦

農業委員会委員の推薦

学識経験を有する委員として
て、高宮一保氏(二十九区)、
長井 修氏(十一区)を議会
より推薦するものです。

興発展に寄与された功績が認められたもの
ので、七月十五日招集の第四回臨時会開会前に
田嶋議長から表彰状が伝達されました。

四釜議員は、昭和六十二年から四
期十五年にわたり議会議員として活
躍を続けており、地方自治の振
興発展に寄与された功績が認められたもの
ので、七月十五日招集の第四回臨時会開会前に
田嶋議長から表彰状が伝達されました。

平成十四年度一般会計補正
予算(第四号)

既定予算額に二千六百五十万
九千円を増額し、予算総額を
百一億三千九百九十万七千円
とするものです。(原案可決)

平成十四年度下水道事業特
別会計補正予算(第二号)

下水道事業債償還元金で一
千六百七十四万五千円の増額、
一万円の減額により、既定予
算額に一千六百二十三万五千
円を増額し、予算総額を六億
四千四百八十七万円とするも
のです。(原案可決)

請願については、委員会を開
催し採択すべきものと決定し
たものです。

なお、採択にあたり次の意
見を付します。

△ △ △

長沼町の平成十四年五月現
在の要介護認定者数は、三百
九十九人で、介護保険事業計
画の本年度の推計施設入所要
介護者、推計居宅の要介護者
を合わせた三百九十八人とお
むね符号しておりますが、

介護老人保健施設の入所者数
は、現在二十四人で、全て町
外の施設に入所を余儀なくさ
れているのが現状であります。

また、介護老人保健施設の
待機者数は、五月末現在で七
十五人にのぼり、三年以上の
待機期間が必要とされている
のが実態であります。

このようなことから、介護

21	20	22	21	20
総務常任委員会		北海道町村議会議長会理 事会(議長出席)=札幌市)	北海道町村議会議長会と 北海道知事との自治振興 懇談会(議長出席)=札幌 (市)	

30	29	28	27	23
議会運営委員会	産業建設常任委員会	文教厚生常任委員会	空知町村議会議長会 定期総会並びに正副議長 会議(議長・副議長出席) =札幌市)	網走郡美幌町議会一行來 町(議長対応)

保険制度が目指す、施設介護から在宅介護への移行を進め上からも、病院と家庭の中間施設として位置づけられている当該施設の設置は不可欠であり、本案件の計画については、早急に開設が行われる要があると思われます。

なお、この計画に係る介護老人保健施設の設置運営にあ

意見書

第四回臨時会では次の意見書を可決しました。内容を要約して紹介します。

北海道教育大学長再編案に反対し、岩見沢校の教員養成課程及びへき地教育研究施設の存置に関する意見書

先般、北海道教育大学学長は、岩見沢校が担つてきた教員養成課程を他校に統合し、新課程を検討すること、さらに、多くの研究実績のあるへき地教育研究施設をも移転するという再編案を発表しました。この案は、空知地方を中心とする道内の地域教育の崩壊を招き、これまでの地域との連携を否定するものであります。

へき地・小規模校が半数を占める北海道においては、その実現に即した地域教育を進めることを求め、空知管内の市町村、議会、教育委員会、空知総合開発期成会においても要望や意見書の採択を行ななど、岩見沢校の教員養成課程及びへき地教育研究施設の存置は地域住民の総意であります。このため、北海道教育大学長再編案に強く反対するとともに、次の取り組みについて強く求めるものであります。

- ・現地調査

北海道教育大学長が再編案として発表した、岩見沢校における教員養成課程の他校への統合及びへき地教育研究施設の移転を行わないこと。

提出先：内閣総理大臣、文部科学大臣、北海道知事、北海道教育委員会教育委員長、北海道教育大学長

調査の概要

出席した委員

青野委員長、栗木副委員長、田嶋委員、野原委員、新谷委員

企画振興課長より住宅団地販売状況について説明を受け、質疑等を行いました。

定住化促進

委員会活動

コミュニティ公園

吉田商工観光課長（ながぬま温泉入り込み状況等について説明）

総務常任委員会は、五月二十日に開かれました。

主な調査内容は次のとおりです。

調査した項目

- ・ながぬまコミュニティ公園の管理運営について
- ・地域振興対策について
- ・町税の賦課及び徴収について

吉田課長 最近の観光は、安い・近い・短いという傾向であり、札幌近郊がターゲットであります。どんどんPRをして、さらに増強を図り、道の駅や商店街等に立ち寄ってもらい長沼町で買い物をしていただければ、大変望ましいことだと思います。

- ・防災対策について
- ・町有施設及び財産の維持管理について
- ・現地調査

回北海道ゲートボール大会（議長出席）
道央地域ごみ処理広域化関係市町連絡協議会第二回拡大役員会（議長・副議長出席）

南六号排水機場修祓式・落成記念式（議長他各議員出席）

北海道町村議会議長会第五十三回定例総会（議長出席）

長沼町農業団体連絡協議会十四年度総会並びに研修会（議長出席）

平成十四年度石狩川水防公開演習（議長他各議員出席）

南空知町村議会議長連絡協議会臨時総会（議長出席）

福島県岩瀬村議会一行来町（議長対応）

岩手県零石町議会一行来町（議長対応）

福島県岩瀬村議会一行来町（議長対応）

道内政務調査（議長他各議員出席）

常呂郡留辺蘗町・網走郡女満別町・沙流郡日高町

第十五回長沼町健康まつ

くして載せてはどうかという
助言をいただいております。

パークゴルフ場

商工観光課長よりパークゴ
ルフ場利用状況について説明
を受け、質疑等を行いました。

住民交通の確保

林施設課長 規制緩和による
参入撤退の自由化により、J
Rバスは道内四路線、四十系
統を来年二月末で廃止するこ
とが決定しました。空知管内
では三路線、三十三系統と廃
止対象の大半を占めておりま
す。本町でも長恵線の長高前
から遠軽団地、南長都間が廃
線の予定となっています。

町としても何らかの対策を
講じる必要があり、現在その
対策について検討中であります。

中原課長 財政事情、厚生省
補助事情も含めて、検討した
結果、長い目でやつていこう
ということです。新築

が優先されますが、一
端待つてもらつてと言うわけ
経費はどの程度か。

林課長 中型のノンステップ

バスは一千七百万円、小型で
一千五百万円程度で、委託料
は一路線あたり約六百三十万
円ぐらいであります。

駒谷委員長 運行、バス購入
に対する補助はないのか。

林課長 運行に対しては、色々
な規制はありますが、本町
で約百五十万円程度で、バス
のものに対しては、約五十
万円程度であります。それで
あれば、過疎債の方が有利で
あると考えます。

合併処理浄化槽

中原都市計画課長 (合併処
理浄化槽の申し込み状況につ
いて説明)

馬鹿谷委員長 改築部分も枠を
確保することが必要であり、
新築と改築を分けて考えるべ
きと思うが。

中原課長 財政事情、厚生省
補助事情も含めて、検討した
結果、長い目でやつていこう
ということです。新築

が優先されますが、一
端待つてもらつてと言うわけ
経費はどの程度か。

中原課長 中型のノンステップ



からで、人口増という形の中
で、財源的に体力をつけ、こ
のような事業にもつと財源を
投入できれば良いと考えてお
ります。今後においても努力
していきたいと思います。

建設事業

施設課長、都市計画課長よ
り工事の進捗状況等について
説明を受け、質疑等を行い、
現地調査を実施しました。

五月二十九日

主な調査内容は次のとおり
です。

調査した事項

- ・国民健康保険事業について
- ・介護保険事業について
- ・福祉施設の整備運営について

- ・社会教育対策及び施設の整
備運営について
- ・付託事件の審査について

- ・車連隊創隊記年行事(議
長出席)、惠庭市
- ・北恵庭駐屯地創立五十二
周年記念行事・第七二戦
- ・郵便局長杯争奪ゲートボ
ール大会(議長出席)

- ・佐藤委員、宮井委員、松本委
員、四釜委員及び田嶋議長

- ・池田委員長、藤田副委員長、
佐藤委員、宮井委員、松本委
員、四釜委員及び田嶋議長

- ・出席した委員

国民健康保険事業

住民課長より国民健康保険
事業について説明を受けま
した。

駒谷委員長 町が代替えのバ
スで運行するならば、バス一
台の購入と年間の委託料等の
経費はどの程度か。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、五
月二十九日と七月五日に開か
れました。

長沼町老人クラブ交歓会

中央地区親睦ゲートボーラー
大会(議長出席)
上川郡風連町議会一行來
町(議長対応)

秋田県雄勝郡町村議会議
長会一行來町(議長対応)

長野県生坂村議会一行來
町(議長対応)

全国市議会議長会基
地協議会第五十七回理事
会(議長出席)東京都

北恵庭駐屯地創立五十二
周年記念行事・第七二戦

年行事(議長出席)

千歳川治水対策促進市町
議会連絡協議会定期総会

平成十四年度千歳川流

域治水促進連合協議会定

ゴルフ大会(議長出席)
南空知消防組合設立三十
周年記念演習(議長他各
議員出席)由仁町

第四回議会臨時会
長沼町老人クラブ交歓会

中央地区親睦ゲートボーラ
大会(議長出席)

上川郡風連町議会一行來
町(議長対応)

秋田県雄勝郡町村議会議
長会一行來町(議長対応)

長野県生坂村議会一行來
町(議長対応)

全国市議会議長会基
地協議会第五十七回理事
会(議長出席)東京都

北恵庭駐屯地創立五十二
周年記念行事・第七二戦

年行事(議長出席)

千歳川治水対策促進市町
議会連絡協議会定期総会

平成十四年度千歳川流

域治水促進連合協議会定

介護保険事業

福祉課長より介護保険事業について説明を受け、質疑等を行いました。

りふれの利用

福祉課長よりりふれの利用について説明を受けました。

山崎所長 スキー場入場者の状況について説明を受けました。

宮井委員 スキーヤーの事故はどこが補償するのか。

山崎所長 スキー場入場者の保険に入つておらず、転倒等の事故に対しては、その保険で対応します。賠償責任については、一事故三千万円まで、傷害保険については、死亡及び後遺症で二百万円、入院日額千円、通院六百円という内容であります。

福社課長よりりふれの利用状況について説明を受けました。

傷害保険については、死亡及び後遺症で二百万円、入院日額千円、通院六百円という内容であります。

会保障制度をはじめ、社会保障制度の抜本改善に向けての財政措置を求める「意見書」採択の陳情については、なお精査を要するため、継続審査となりました。

七月五日

審査した事項

・付託事件の審査について

出席した委員

池田委員長、藤田副委員長、佐藤委員、宮井委員、松本委員、四釜委員及び田嶋議長

出席した委員

・現地調査

調査の概要

付託事件の審査

平成十四年五月二日に受理

された「介護老人保健施設の建設を求める請願」について

審議した結果、採択すべきと決定しました。

山崎所長 平成十三年度のスキー場の利用実績は開設期間が平成十三年十二月十五日から平成十四年三月二十四日で、リフト搬送人員は七十一万一千百二十九人で前年対比九・七%減、リフト使用料は前年対比七・七%減となつたところであり、減少要因としては一月、二月の降雨、暖冬による雪解けの早まりと考えられます。また、事故等について

は、全体で三十七件で、その内三十五件が自己転倒となっています。

付託事件の審査

治水対策特別委員会は、八月一日に開かれました。主な審査内容は次のとおりです。

八月

期総会（議長・副議長出席）
席：恵庭市

治水対策特別委員会は、八月一日に開かれました。主な審査内容は次のとおりです。

八月

期総会（議長・副議長出席）
席：恵庭市

2 北長沼水郷公園パークゴルフ場オープニング式

5 空知町村議会議長会主催議員研修会（議長他各議員出席）

6 第二十回夏季全町ゲートボール大会（議長出席）

7～9 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

10 現地調査を実施し、施設課長より説明を受け、質疑等を行いました。

11 中央要望実行運動（議長出席）

12 北長沼水郷公園パークゴルフ場オープニング式

13～14 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

15 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

16 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

17 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

18 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

19 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

20 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

21 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

22 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

23 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

24 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）

25 空知町村議会議長会中央要望実行運動（議長員出席）



8/1 治水対策特別委員会現地調査(零号排水)

治水対策特別委員会

我が町 ながぬま

長沼町に移り住んで30数年、緑と光のニュータウンのキャッチフレーズ通り、緑が多く環境の整った住み心地の良い田園都市。進み行く高齢化社会に対応すべく福祉と健康にも力を注ぎ、心豊かにゆとりをもって生活でき得る環境づくりに前向きに取り組んでいる様子が伺えます。

スポーツ等の施設も充実し、特にパークゴルフ場に関しては、町内に5ヶ所もあり、自慢できる施設で、町民はもとより町外からも大勢のプレイヤーで賑わいを見せております。私も運動不足を解消するため、時折、プレーを楽しんでおります。

内山信治

(銀座南2丁目)



地方自治体に対する交付税削減

減の中、行政の手腕が問われる時と 思います。町理事者と議会が一致協力し、活気漲る町づくりを期待し、私たち町民一人一人もルールとマナーを守り、環境の美化と保護に努めなければならぬと思います。

人情味溢れる良い人たちとの出会いを大切に第二のふるさと長沼を愛し、全てに感謝の心を持って、この町で一生を終えたいと考えております。

わたしのメッセージ

私の趣味

川邑登里子

(曙町2丁目)



長沼町に住むようになって28年が過ぎようとしています。

子育て真っ最中の時、糖尿病と診断され、何回も入退院を繰り返し、悩んだ年月もありましたが、病も個性として受け入れようとしてから、毎日の生活が楽しいものとして変化してきました。誘われるたびに、次々趣味が増えて、仲間、友人ができました。書道は、墨の香りと、白黒の美しさが楽しめます。絵手紙は、見知らぬ方々から思

いもよらない元気をもらいました。陶芸は、いびつな皿でも不思議と愛着がわきました。ダンスは、糖尿病の合併症である神経障害がなくなりました。カラオケは、ストレス解消です。最近では、近所の40代から80代の主婦8人で毎月1回ボケ防止にと、トランプ会を持ち、お腹をかかえて笑っています。

趣味を通して色々な方との出会いは、たくさんのお話を学ばせてくれました。これからも一病息災で年齢を重ねていきたいと思っています。

「議会だより」も内容を充実させ、皆様に読んでいただけます。ご意見、ご要望を議会事務局まで、ご一報いただければ幸いと存じます。

北海道は交通事故死全国一であり、長沼町においても交通事故死を防ぐのに完全な対策はありません。あるとすれば、交通安全に対する一人一人の問題意識であると思いま

あとがき

八月十三日

栗木睦男記